



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2008. 10 月号

平塚市博物館
第100回記念特別展

「金目川の博物誌」

会期：10月4日(土)～11月30日(日)

今回、対象とした金目川水系の範囲は、平塚市、伊勢原市、秦野市の大部分と、厚木市、大磯町の一部に及びます。このエリアの“川と水”にテーマを絞りました。具体的には、川の流路変遷、治水や水利など川と水をめぐる人々のドラマ、川と水への信仰、川と水辺の自然です。このように“川と水”といっても内容は多岐にわたるため、博物館の地質・考古・歴史・民俗・生物の5分野が関わり、自然と人文から複合してアプローチすることにしました。こうした複合分野が有機的に絡み合った特別展は、総合博物館であるからこそ可能であり、地域博物館としての使命の一つでもあります。



桜ヶ丘から見た花水川

■関連行事

○金目川を歩く

【内容】花水川の河口から源流付近の大山阿夫利神社下社まで4回に分けて歩き、金目川の自然と文化を観察します。【日程・行程】〈第1回〉10/18(土)花水河口～渋田川合流地点～達上池～纏緑道～吾妻橋〈第2回〉11/1(土)吾妻橋～大堤～土屋橋～弘法の清水～秦野駅〈第3回〉11/8(土)秦野駅～水無川～葛葉川～蓑毛大日堂～蓑毛〈第4回〉11/22(土)蓑毛～大山阿夫利神社下社～大山寺～大山ケーブル下【時間】各回9時30分～16時【参加】往復はがきに住所、氏名、電話番号を記し、10/9までに申込む【定員】30名(4回とも参加できる方に限る) *雨天時順延

○秋のイブニング・ミュージアム・ウィーク「金目川特集」

【内容】金目川をテーマにしたミニ講演会を毎夕実施します。【日程】10/21(火)地形と流路変遷 10/22(水)

金目川水系の遺跡 10/23(木) 金目川の生き物 10/24(金) 金目川と暮らし～水系の雨乞い～ 10/25(土) 治水の歴史【時間】18時～19時【講師】当館学芸員【会場】講堂【参加】自由

○シンポジウム「金目川を語る」

【内容】金目川をフィールドに活動する市民団体と館学芸員が、金目川水系の自然と文化について語り合います。前半は個別報告、後半にシンポジウムを行います。【日時】11月16日(日)13時30分～16時30分【報告者】当館学芸員、柳川勝正氏(金目エコミュージアム副委員長・歴史文化部長)、柳川三郎氏(金目川水系流域ネットワーク・リーダー)【会場】講堂【参加】自由

○学芸員による展示解説

【日程】10/4(土)、10/5(日)、10/12(日)、10/19(日)、11/9(日)【時間】15時～16時【会場】特別展示室【参加】自由

☆ 第100回記念特別展「金目川の博物誌」の展示内容の紹介(1) ☆

I 章～III章(前半部分)

後半部分は来月紹介します

I 金目川水系の地理

平塚市は川の多い町です。相模川のほかにも覚えておいてほしい川が3つあります。それは、金目川、鈴川、渋田川です。これらの川の源流は、大山から塔ノ岳に至る表丹沢の山々に発します。3つの川は下流で合流すると、花水川と呼ばれ相模湾へ注ぎます。特別展では、支流を含む金目川水系の流域を対象エリアとしました。

この章では航空写真などで金目川水系の上流～下流の地形を概観するとともに、地名や遺跡、村の成り立ちなど人文的な概要も合わせて紹介します。



桜ヶ丘上空から南原の三川合流点付近を望む

II 金目川の生い立ちと変遷

川は、昔からずっと同じところを流れていると思われがちですが、金目川の流れは、長い年月をかけて大きく移り変わりました。

今から約5万年前の金目川は、南の葛川（二宮町）へ流れていました。その後、渋沢断層の活動で大磯丘陵が隆起し、秦野盆地を通して東へ流れるようになりました。近世に入ると、元禄地震（1703）や富士山の宝永噴火（1707）によって河川に砂が堆積し、洪水が頻発します。このため3度にわたる大きな筋替工事がなされました。

この章では地質資料や古文書等により、金目川の流れの変遷を追います。



寛政7年(1795)12月 高麗寺領山林田畑惣絵図
(大磯町郷土資料館蔵 大磯町指定文化財)

III 水害と水防

ふだん穏やかな金目川も、大雨が降ると荒々しい濁流に一変します。かつては度々堤防が決壊し洪水を起こす暴れ川でした。

人々は洪水から村を守るために堤防を堅固に築き、集落の外側に控え土手(控え堤)を築きました。金目川の堤防の修復には、金目川通り二十八ヶ村組合の村々があたりました。28の村々は金目川の水を水田に利用しており、治水の義務を負っていたのです。現在は、水系の3市で金目川水害予防組合を組織し、水源の春岳山を管理しています。

この章では金目川の治水に関する古文書や古写真等で、人々の水害とのたたかいを紹介します。



金目川の堤防決壊時の様子 昭和5年頃 現金旭中学校裏の堤防付近 (平塚市広川 窪田健治氏蔵)

昨年、台風9号により砂浜の砂がなくなって西湘海岸に思わぬ化石が多量に発見されました。今回はこのとき、見つかった「生痕化石」(生物の体ではなく、生活した跡)を素材として、「生痕化石のいろいろ」「生痕化石ができるまで」「身近に発見された生痕化石」について、分かりやすく紹介しています。生物の住みか跡、食事の跡、糞の跡、行動の跡の化石が並んでいます。この展示は、学芸員の卵、博物館実習生たち14名が実習の一環で3日間かけて製作したものです。実習生の汗と涙の結晶とも言える展示です。是非ご覧下さい。



展示と生痕化石

2008年度博物館実習が行われる！

9月10日(水)～18日(木)に2008年度の博物館実習が行われました。参加者は各大学から計14人で、1週間にわたり資料整理や普及活動、展示製作などの活動を行いました。

■7日間の実習で、私たちは学芸員のいろはを体験し、日頃学べないことを学びました。展示製作では、「生痕化石」というテーマをいただきましたが、まだ研究の進んでいない分野で資料等も少なく、どの様な表現をすれば入館者へ上手く伝わるのかということに大変苦労しました。しかし、展示作業を通じ実習生同士でコミュニケーションを取るうち、だんだんと完成の形が見えてきて、全員で同じ目標に向かって作業することの楽しさを知ることが出来ました。

学芸員の皆様にはお世話になりっぱなしでしたが、何とか終わることができました。ぜひ多くの方々に見ていただきたいです。また、今回の実習を今後活かせるよう、日々精進していきたいと思っております。ありがとうございました。(山縣瑞恵)

■学芸員の方を始めとする多くの方々に支えられて過ごした7日間は、言葉では言い尽くせないほど充実しており、もう2度とこんな時間が過ごせないのかと思うと、ふと寂しい思いに駆られます。

私達が最後の3日間で試行錯誤の上につくり上げた「体のない！？化石展」は、博物館実習の集大成であり、愛する我が子のような存在です。博物館を来訪して下さいる皆さんのお役に立てれば、これ以上の喜びはありません。博物館に携わる全ての方々に精一杯の感謝を込めて、ありがとうございました。(曾我真紀)

■1週間の博物館実習で、学芸員の方々にはとても親切に指導していただきました。今回の実習では“生痕化石”についての展示製作をしましたが、限られた時間の中で、展示のねらいや意図を分かりやすく展示し、博物館利用者の方々に興味を持って見ていただける展示を製作するのは、とても難しいと感じ、普段何気なく見学していた展示には、学芸員の方々のこのような苦労があったのだと体感しました。

普段、共同作業の機会がない中、14人の実習生が意見を出し合い、協力し1つの展示に取り組むというのは、良い刺激になりました。この実習で学ばせていただいたことを大切にしていきます。

(有賀小百合)



生痕化石の保存処理



博物館実習生14人による怒濤の展示製作活動



2	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
3	金	古文書講読会	講堂
4	土	☆プラネタリウム「10月の星空ナビ」	プラネ
		☆「金目川の博物誌」展 ～11/30まで	特別展示室
	◎	特別展展示解説(地質部門)	特別展示室
		地質調査会	科学室
5	日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
8	水	◎特別展展示解説(生物部門)	特別展示室
		◎縄文土器を作ろう(一般対象)	科学室
9	木	◎石仏を調べる会	根坂間
		◎縄文土器を作ろう	科学室
10	金	◎古文書講読会	講堂
		◎星を見る会	屋上・科学室
		◎天体観察会	屋上・科学室
	◎	縄文土器を作ろう	科学室
		天体観察会	屋上・科学室
11	土	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
		◎遺跡を歩く会	屋外
12	日	◎地質調査会	屋外
		◎平塚の古代を学ぶ会	講堂
	◎	特別展展示解説(歴史部門)	特別展示室
		民俗探訪会	伊勢原市
15	水	◎裏打ちの会	科学室
		◎展示解説ボランティアの会	特別研究室
16	木	◎キノコ観察会	野外
		◎古文書講読会	講堂
17	金	◎金目川を歩く1	屋外
		◎古代生活実験室	科学室
18	土	◎星まつりを調べる会	特別研究室
		◎特別展展示解説(民俗部門)	特別展示室
	◎	ろばたばなし	展示室民家
		◎自然観察ゼミナール「自然観察会リーダー入門」	屋外
19	日	◎祭囃子研究会	講堂
		◎イブニング・ミュージアム講演(地質)	講堂
21	火	◎イブニング・ミュージアム講演(考古)	講堂
22	水	◎イブニング・ミュージアム講演(生物)	講堂
23	木	◎石仏を調べる会	公所
		◎古文書講読会	講堂
24	金	◎イブニング・ミュージアム講演(民俗)	講堂
		◎イブニング・ミュージアム講演(歴史)	講堂
	◎	考古学入門講座	講堂
		◎自然観察ウォーキング	屋外
25	土	◎自然観察ゼミナール「自然観察会リーダー入門」	屋外
		◎地域史研究ゼミ	特別研究室
	◎	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
		◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
26	日	◎相模川の生い立ちを探る会	山北町
		◎縄文土器を作ろう(野焼き)	科学室
31	金	◎アクアマリン プラネタリウムコンサート	プラネ

1	土	☆プラネタリウム「11月の星空ナビ」	プラネ
		☆寄贈品コーナー「万田貝塚」～11/30	展示室
	◎	金目川を歩く2	屋外
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
2	日	◎水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
5	水	◎石仏見学会「金田の石仏めぐり」	屋外
		◎展示解説ボランティアの会	特別研究室
7	金	◎古文書講読会	講堂
		☆プラネタリウム「フリートーク」～11/30	プラネ
8	土	◎金目川を歩く3	屋外
		◎考古学入門講座2	講堂
	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
		古代生活実験室	科学室
9	日	◎相模川の生い立ちを探る会	愛川町
		◎特別展展示解説(考古部門)	特別展示室
13	木	◎石仏を調べる会	特別研究室
14	金	◎古文書講読会	講堂
		◎遺跡を歩く会	屋外
15	土	◎体験学習「簡易プラネタリウムを作ろう」	講堂
		◎地質調査会	科学室
16	日	◎ろばたばなし	展示室民家
		◎シンポジウム「金目川を語る」	講堂
19	水	◎民俗探訪会	屋外
		◎裏打ちの会	科学室
20	木	◎展示解説ボランティアの会	特別研究室

以下 省略

- ◎自然観察ゼミナール「自然観察会リーダー入門」
自然観察の基礎を学び、実際にリーダーを経験します。
日時：10月19日(日)・25日(土)午前9時30分～午後4時(雨天中止)
場所：土屋地区/対象：両日とも参加できる方
参加：往復葉書に住所電話等を記入し申込(10/10必着)。
定員：15人(多数の時は抽選)。
- ◎自然観察ウォーキング
秋の土屋の里山を歩きます。
日時：10月25日(土)午前9時30分～午後3時(雨天中止)
参加：往復葉書に住所電話等を記入し申込(10/16必着)。
定員：20人(多数の時は抽選)。
- ◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会「3Dで見る宇宙」
太陽系・銀河系等の階層構造をアナグリフ方式の3Dで解説。
日時：10月26日(日) 午後3時30分～4時30分
場所：プラネタリウム/参加：自由
- ◎アクアマリン プラネタリウムコンサート
プラネタリウムの星空を背景に、星・旅・宇宙をテーマにした優しさあふれる歌声をどうぞ。
日時：10月31日(金) 午後7時～8時
場所：プラネタリウム室
参加費：無料 / 定員：70名(先着順)
申込：電話で申込。10月1日9時受付開始。
- ◎石仏見学会「金田の石仏めぐり」
石仏を調べる会が金田地区の石仏を案内します。
日時：11月2日(日)午前10時～午後3時(雨天中止)
参加：往復葉書に住所電話等を記入し申込(10/22必着)。
定員：15名(多数の場合は抽選)。
- ◎体験学習「簡易プラネタリウムを作ろう」
簡単な工作でスクリーンつきプラネタリウムを作ります。
日時：11月15日(土) 午後4時～6時30分
場所：博物館科学教室・プラネタリウム
参加費：1000円 / 定員：20人(多数の時は抽選)。
参加：往復葉書に住所電話等を記入し申込(10/15必着)。

＜展示とプラネタリウム＞

- ★プラネタリウム「10月の星空ナビ」
今月の天文現象の見どころを紹介します。
日時：10月4日(土) 午後2時
観覧料：100円(中学生以下無料)
(通常の投影は毎週土、日曜午前11時、午後2時)
- ★プラネタリウム「月とわたしたち」
月の満ち欠けと見える位置・時間の変化を探査機の映像や習俗をからめ解説します。
投影日：11月2日(日)迄の土・日曜日の午前11時と午後2時
観覧料：100円(中学生以下無料)

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

＜参加者募集＞

- ◎遺跡を歩く
南原地区の遺跡を歩きます。
日時：10月11日(土) 午前10時～午後3時(雨天時中止)
参加：往復葉書に住所電話等を記入し申込(10/5必着)。
定員：20人(多数の時は抽選)。
- ◎体験学習「縄文土器を作ろう」
縄文土器を作り、野焼きします。
日時：10月8～10(水～金)、26日(日)午前10時～午後4時
場所：博物館科学教室/定員：10人(多数時は抽選)
参加：往復葉書に住所電話等を記入し申込(10/5必着)。
- ◎星を見る会「月を見よう」
望遠鏡で月面の海やクレーターを観察します。
日時：10月10日(金) 午後7時～8時30分(曇雨天時中止)
場所：博物館科学教室、屋上/参加：自由
- ◎キノコ観察会
午前野外で観察・採集、午後は室内で観察。
日時：10月16日(木)午前9時50分～午後3時(小雨決行)
場所：吉沢霧降の滝周辺
参加：往復葉書に住所電話等を記入し申込(10/7必着)。
定員：15人(多数の時は抽選)。
- ◎ろばたばなし
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
日時：10月19日(日) (1)午後1時20分～ (2)午後3時～
場所：展示室民家/参加：自由

あなたと博物館 36巻7号 通算382号 発行 平塚市博物館 2100
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: info07@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/